（様式3）

令和３年度（2021年度）公共事業再評価調書

基準年月日	令和３年８月１日

調書番号	07-05	所管部	水産林務部	作成責任者	水産林務部林務局森林整備課路網整備担当課長　神馬　昭男
				担当係	路網整備係（内）28-634

Ⅰ　基本事項（基準日時点）

事業種別	林道整備事業費	地区名	豊津黒岩（とよつ くろいわ）	市町村名	長万部町・八雲町

事業費	980 百万円	負担割合	国 50.0%	道 25.0%	市町村 25.0%	その他
			490 百万円	245 百万円	245 百万円	百万円

事業目的・目標

●森林整備の基盤となり、生活環境の改善にも資する骨格的な林道を開設
●本路線を幹線とする路網が構築され、効率的な林業経営を確立
●本林道の森林利用区域面積は1,213haで、人工林を主体とした間伐の木材搬出路、天然林を主体とした森林の保全に伴う水源涵養機能の維持向上や土砂流出防止機能の発揮のために重要な林道を開設

【アウトカム】　等

●　森林利用区域における森林整備面積を林道整備後も着実に増加させる
●　林道整備前 39ha → 林道整備後 700ha

事業概要

本路線は、長万部町字豊津地区の町道と八雲町黒岩地区の林道を結ぶ、車道幅員3.0m、全幅員4.0m、事業計画延長11,441mの路線であり、土工・路盤工・排水施設工・法面保護工等を中心とした開設（新設）を行うもので、この地域の森林整備を実施する上で重要な路線である。

工事費内訳

	（百万円）前回評価	（百万円）今回評価
林道開設事業W=3.0m(4.0m)　L=11,441m		
林道開設工事費　L=10,800m→L=11,441m	1,350	848
測量設計費　1式	200	128
用地補償費　1式	7	4
計	1,557	980

総合計画での位置付け

施策名	森林資源の循環利用の推進による林業及び木材産業等の振興	総合計画：大項目	経済・産業
総合計画：中項目	農林水産業の持続的な成長	総合計画：小項目	林業・木材産業の振興を図り、資源の循環利用を進める森林づくり
施策目標	森林の有する多面的機能を持続的に発揮させる森林づくりを進め、森林資源の循環利用を推進することにより、持続的で健全な林業及び木材産業等の振興を図る。	関連する指標	森林所有者が効率的な森林施業を行うための路網整備水準　基準値62m／ha　→　最終目標値66m／ha ※北海道森林づくり基本計画より

Ⅱ　公共事業評価経過

（単位：百万円）

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
事前評価又は当初	H17 (2005)	H17 (2005)		H36 (2024)			1,557	389			
前回評価											
今回評価	H17 (2005)	H17 (2005)	R3 (2021)	R6 (2024)	16		980	245	77	782	80%

変更理由・内容

（１）H15（2003）事前評価からH17（2005）事業採択までの間に計画内容を検討し、最も効率的かつ経済的なルートを選定したことによる事業量の増加と事業費の減額
（２）H17年度（2005年度）実施の全体計画調査（現地踏査・路線選定・比較検討・事業費算出等）の結果による事業量の増加と事業費の減額

Ⅲ　事業採択前の状況

1．事業採択に至る経過と背景

●本路線利用区域は基幹となる路線が未整備のため、適切な森林施業が困難な状況にあり、森林整備が立ち後れている。
●本地区の森林は、人工林が4割、天然林が6割となっており、人工林は林齢16～45年の間伐が必要な林分となっているため、間伐を主体とした森林施業が計画されている。

2．事業検討の手続（住民ﾆｰｽﾞの把握等）

●平成14年（2002年）　森林所有者より森林整備の要望（長万部町・八雲町）
●平成15年（2003年）　本林道の実行について、長万部町・八雲町、森林所有者、森林組合等の関係機関と協議
●平成15年（2003年）　地域住民に対し事業説明
●平成17年（2005年）12月　全体計画調査（アセスメント等）

3．事業効果を及ぼす地域・対象

●本路線利用区域に関する森林所有者（23名、長万部町・八雲町）及び森林組合、周辺の林道事業者
●利用区域内の森林が持つ水源涵養・国土保全・土砂流出防止などの公益的な機能の受益者
●森林利用区域面積1,213ha

4．関連する事業

事業名	事業主体	事業期間	事業費（百万円）	事業内容
森林環境保全整備事業	長万部町	H17（2005年）～R2（2020年）	82	森林施業（間伐・造林・保育）
森林環境保全整備事業	山越郡森林組合	H17（2005年）～H21（2009年）	1	森林施業（保育）

Ⅳ　事業の実施状況

1．進捗状況

（１）事業実績及び今後の計画

施工（工種）区分	工事内容	17	18	～	22	～	R1	～	3	4	5	6	進捗状況	事業費（百万円）
					L=5,666m					L=5,775m				
林道開設工事	W=3.0m　L=11,441m		←						→	←	- - -	→	80%	848
測量設計費	全体計画・測量設計	←							→	←	- - -	→	78%	128
用地補償費	用地買収・立木補償		←	—	→								100%	4

（２）進捗状況

今後の事業実施に当たって特に大きな支障や課題はないが、予定年度での完了に向けてコスト縮減及び施工量を増加する必要がある。

a

a：概ね予定どおり実施している。
b：事業計画・期間等を変更し実施する。
c：問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2．事業効果

経済効果の内訳（百万円）項目	R3現在	費用の内訳（百万円）項目	R3現在	B／C R3現在
木材利用増進便益	5	事業費	1,163	
木材生産確保・増進便益	83	維持管理費	15	
森林整備促進便益	1,332			
合計（B）	1,420	合計（C）	1,178	1.21

前回算定年度　：H15年度（2003年度）【事前評価】
前回算定時B/C　：1.91
変更理由　：林野公共事業における事業評価マニュアル及び単価の改訂

備考
●「林野公共事業における事業評価マニュアル」（林野庁R3）に基づき算出している。
●費用は、現在価値化及び整備期間＋事業完了後40年間の維持管理費及び森林整備費の計上により総事業費と異なる。

3．コスト縮減などの取組

取組の項目	取組内容	縮減額（百万円）
計画ルートの比較検討	全体計画調査で林道開設に係るルートの検討・経済比較を実施	29
合理的な設計の推進	標準設計の改訂等を踏まえた林道工事の実施	12

Ⅴ 評　価

1．必要性	●今後の開設区間においても森林整備が計画されており、本事業による林道開設の必要性に変化はなく事業継続は必要である。
	a　a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。　b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。
2．事業を推進する上での課題	（1）環境上の配慮及び課題 ●工事区間における希少動植物については、現地調査及び地元有識者への聞き取り等を行った中で確認されていない。また、河川等に構造物を設置する際は沈殿槽等を設置し、直接汚濁水を流入させないなど水質汚濁防止の取り組みに努めている。 ●土工のバランスを考慮し、極力地形の改変を抑える線形とするとともに、法面の早期緑化により降雨時・融雪時の土砂災害防止に努める。 ●自然環境に合う間伐材等を利用した木製品を積極的に使用し、地材地消を推進している。
	（2）事業推進に対する住民の動向 ●工事が完了した区間から供用を開始しており、これを活用して森林所有者により森林整備が進められている。林道整備により作業効率が向上し、間伐・保育による健全な森林への成長が促進されている。また、高性能林業機械の導入や大型トラックによる木材運搬が可能となり生産性が向上するなど、地域の活性化に寄与している。 ●利用区域内の森林は、基幹的な路網が未整備で、森林の整備や集約化を図ることが出来ない状況であるため、長万部町・八雲町や森林所有者から幹線路網の整備について強い要望がある。
	（3）その他の課題 ●「北海道地域材利用推進方針」に基づき、地域材（道内で加工された木材）を利用した木製品を積極的に使用し、自然環境への配慮と地域材製品の利用促進に努める。
3．事業達成の見込み	事業を推進する上で特に問題等はなく、引き続きコスト縮減を図ることで、事業期間内での完了が可能である。
	a　a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。
4．対処方針	森林整備を実施する上で、必要な路網整備の基幹となる本林道の必要性に変化はなく、自治体からも完成に向けての要望が強く、事業達成は十分見込まれることから、早期完成を目指し事業を継続する。
	a　a：継続　b：終了　c：休止　d：中止

事業期間変更の有無	無	事業費変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更	左記以外の変更
					無	有

Ⅵ 備　考

1．評価履歴	事前評価：平成15年度（2003年度）　評価結果：要望を行うことは妥当　B/C=1.91 再評価　：該当なし
2．その他の取組事項	

補足資料

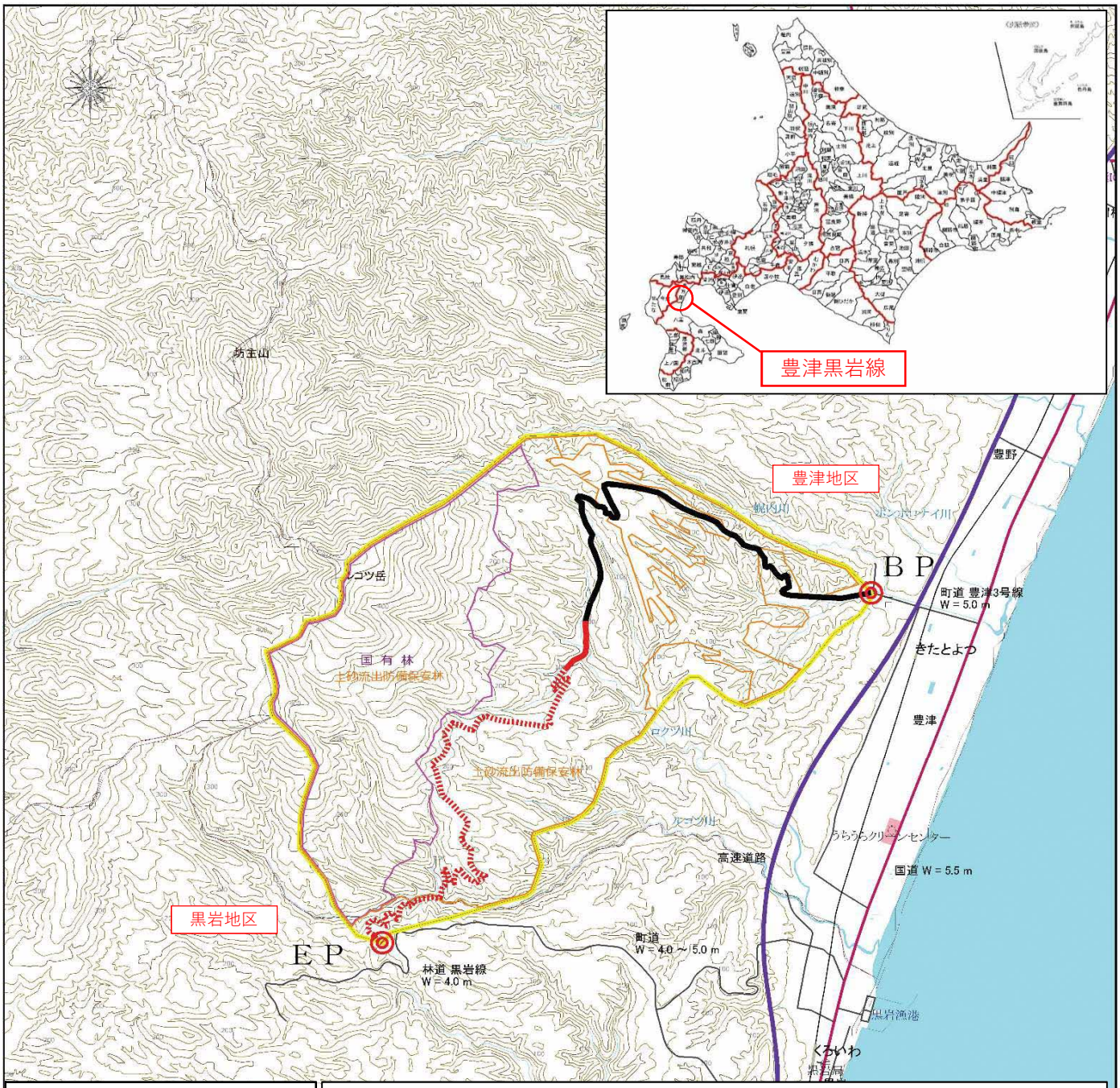
Ⅶ 事業計画変更

（単位：百万円）

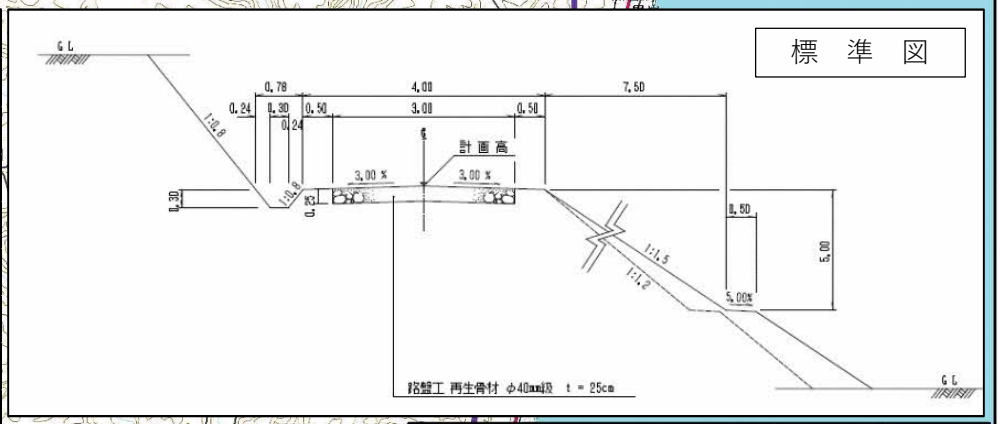
事業経過		再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	事前評価又は当初		H17 (2005)	H17 (2005)		H36 (2024)			1,557	389			
	変更①				H16 (2004)	H36 (2024)			1,215	303			
	変更②	1回目	H17 (2005)	H17 (2005)	H17 (2005)	H36 (2024)			980	245	77	782	80%
	変更③												
	変更④												
	変更⑤												
	変更⑥												
	変更⑦												
	変更⑧												
	変更⑨												
	変更⑩						16						

変更理由・内容	変更①　：　事業費・事業計画延長の変更（事業採択） ・H15（2003）事前評価時点でも、図上及び現地で通過位置を検討し概算の事業費を算出していたが、国への採択申請をするにあたってさらに検討を重ね、最も効率的かつ経済的なルートを選定し、事業計画延長が若干伸びるが地形等条件の良い位置を極力通過することにより事業費の縮減。（事業計画延長 L=10,800m ⇒ L=11,100m　増300m） 変更②　：　事業費・事業計画延長の変更 ・H17年度（2005年度）に実施した全体計画調査（自然環境等調査、現地踏査・路線選定・比較検討・全体計画図作成・事業費算出など）結果により、事業費の縮減。（事業計画延長 L=11,100m ⇒ L=11,441m　増341m）

地区名	事業主体	所在地	主な事業内容	
豊津黒岩	北海道	長万部町 八雲町	利用区域面積	1,213　ha
			幅員(車道幅員)	4.0（3.0）　m
			延　　長	11,441　m



凡　　例	
対象林道(未成区間)	
対象林道(施工中)	
対象林道(完成区間)	
林道利用区域	
保　安　林	
国　有　林	
国　　道	
市町村道等	
高 速 道 路	



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
（承認番号　平27情使、第49-GISMAP36033号）

1 : 50000